

# 新岡垣風土記

第430回

## 岡垣の郵便局

岡垣歴史文化研究会 石田 健次

今年、日本の郵便制度が創業されてから150年になる。

明治4(1871)年1月24日に、東京―京都―大阪間の郵便事業の開始が布告され、日本で最初の郵便切手(龍切手)が発行された。同年3月1日に、郵便の取り扱いが開始され、東京、京都、大阪に「郵便役所」を、東海道中に「郵便取扱所」が設置された。「郵便役所」は官設であったが、「郵便取扱所」は地元の名士などに委託され運営された。

明治5(1872)年7月1日からは、全国で郵便事業が実施され、この年、新切手(桜切手)が発行された。

その翌年4月1日に、全国均一の郵便制が実施され、料金は従来の距離別から全国均一となった。また、同年5月1日に、郵便事業を政府専管とすることが布告され、民間による信書の通送が禁止

された。

筑前遠賀郡内で最初に開設された「郵便取扱所」は、明治4(1871)年12月5日に開設された黒崎であった。その後、明治7(1874)年12月16日に若松および芦屋が開設された。

明治8(1875)年1月1日に、「郵便役所」(一等郵便役所・無等郵便役所)は「郵便局」に改称され、一から五等に区分された。「無等郵便役所」に改称されていた「郵便取扱所」は、五等郵便局とされた。

### ●吉木郵便局

明治13(1880)年12月5日に、五等郵便局として開局した。岡垣で最初の郵便局である。

明治18(1885)年10月に貯金の取り扱いが開始され、翌年4月には郵便局が三等級制に改められたことにより、三等郵便局に変更された。同年5月には貯金の取り

扱いが廃止された。四年後の明治22(1889)年3月には、吉木局は廃止されている。廃止の理由は定かではないが、郵便局を維持するだけの利用が無かったのではないかと思われる。

郵便局が廃止されてから十四年後の明治36(1903)年12月10日に、無集配の「郵便受取所」として開設された。この時、為替及び貯金の取り扱いも同時に開始された。この「郵便受取所」が開設されるまでの14年間は、岡垣には郵便局が存在しなかった。

明治38(1905)年4月に、「郵便受取所」から無集配の三等郵便局となった。大正7(1918)年2月に「岡垣郵便局」に名称が改称されたが、昭和45(1970)年3月30日に当初の局名である「吉木郵便局」に変更され今日に至っている。

●岡垣郵便局  
大正11(1922)年8月14日に、「海老津郵便局」として海老津駅の近くに開局された。同年9月11日から郵便、貯金、保険の取り扱いを開始した。

昭和3(1928)年11月8日には海老津駅前通りに移転し、昭和



▲岡垣郵便局の風景印(三里松原と松の木)

5(1930)年7月11日から集配の業務を開始した。昭和12(1937)年8月13日に旧国道三号線沿いに移転した。昭和45(1970)年3月30日に現在地に局舎を新築するとともに、現在の局名である「岡垣郵便局」に変更された。

### ●野間簡易郵便局

昭和51(1976)年8月1日に開局した。付近には、昭和45(1970)年に完成した役場新庁舎や岡垣中学校があり、郵便利用の利便性の向上が図られた。

### ●高陽団地簡易郵便局

高陽団地住民の利便性を目的に、平成4(1992)年3月19日に開局した。